

令和8年度 福島県認知症介護実践者研修（第1回）

講義時間には休憩時間も含まれています。

前期 オンライン研修	【1日目】 7月2日 (木)	9:00～9:20	受付	
		9:20～10:20	認知症介護実践者研修の理解(60分)	認知症介護指導者
		10:20～12:50	認知症ケアの理念(150分)	
		13:40～15:40	権利擁護の視点に基づく支援(120分)	認知症介護指導者
		15:40～17:10	生活支援の方法(120/210分)	認知症介護指導者
	【2日目】 7月3日 (金)	9:00～11:00	生活支援の方法(120/210分)	認知症介護指導者
		11:00～12:30	家族介護者の理解と支援方法(90分)	認知症介護指導者
		12:30～13:20	昼休み(50分)	
		13:20～16:20	行動・心理症状(BPSD)の理解と支援(180分)	認知症介護指導者
		16:20～16:50	学習成果の実践展開と共有(30分)	認知症介護指導者
職場実習1（前期 2日間で学んだことを実践する。）2週間				
後期 集合研修 会場: 男女 共生 センター	【3日間】 7月14日 (火)	9:00～9:20	受付	
		9:20～10:20	学習成果の実践展開と共有(60分)	認知症介護指導者
		10:20～12:50	共生社会を推進する地域資源の理解と展開(150分)	認知症介護指導者
		12:50～13:40	昼休み(50分)	
		13:40～16:40	アセスメントとケアの実践の基本(180分/330分)	認知症介護指導者
	【4日目】 7月15日 (水)	9:00～9:20	受付	
		9:20～11:50	アセスメントとケアの実践の基本(180分/330分)	認知症介護指導者
		12:40～17:40	職場実習の課題設定	認知症介護指導者
オンライン	中間報告 7月31日	9:00～9:20	受付	
		9:20～12:20	中間報告(180分)	認知症介護指導者
集合 (男女 共生セ ンター)	【5日目】 8月25日 (火)	9:00～9:20	受付	
		9:20～12:40	報告会・実習評価(180分) 修了式(20分)	認知症介護指導者

※ 都合により、講義順、講師等の変更が生じる場合があります。

※ 全研修課程を受講すること、アンケートの提出をすることで修了証書発行となります

下記の場合は、修了証書の発行は出来ません

遅刻、欠席、早退等により未受講時間がある場合。

提出物が未提出の場合。

受講態度が著しく不良(画面上で確認できない場合)であるとき。

研修内容を理解していない、職場実習が不十分であると判断される場合。

福島県認知症介護実践者研修カリキュラム

講義・演習 1,380分

職場実習課題設定 300分

実習：職場実習前期2週間と職場実習中間報告 180分・後期4週間、職場実習評価（報告会）180分

科目名	目的
認知症介護実践者研修の理解（60分）	認知症ケアを実践する者の役割と研修科目との関係性を踏まえ、研修の概要を把握する。認知症介護の実践者として、自己の課題を確認し、研修における学習目標を明確にする
認知症ケアの理念（150分）	認知症の人の理解を踏まえた、認知症の中核症状、弘道、心理症状（BPSD）、原因疾患等の正しい理解に基づいて認知症ケア理念の重要性を理解する。
権利擁護の視点に基づく支援（120分）	権利擁護の観点から、認知症の人の意思決定支援の重要性や、認知症の人の意思に基づく適切な支援方法を理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。
生活支援の方法（210分）	日常生活・社会生活における中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の意思を尊重し、有する能力に応じた生活の支援を可能とする生活環境づくりやコミュニケーションの実践方法をわかりやすくする。
家族介護者の理解と支援方法（90分）	介護する家族の支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。
行動・心理症状（BPSD）の理解と支援（180分）	認知症の行動・心理症状（BPSD）が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で、生活の質が高められるようチームで支援する。
学習成果の実践展開と共有（90分）	認知症介護実践者研修におけるこれまでの学習成果を踏まえ、自施設・事業所において認知症ケアを実践することにより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気づきや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取り組みの方向性を検討し、他の受講者と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を得る。
共生社会を推進する地域資源の理解と展開（150分）	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる共生社会の実現を推進するための地域資源の活用の重要性が理解できる。
アセスメントとケアの実践の基本（330分）	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的な視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。
職場実習課題設定（300分）	認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にした上で、ケアの実践に関する計画を作成することができる。
職場実習（アセスメントとケアの実践） （実習前期2週間・後期4週間）	研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケア実践計画及びケアの実践を展開できる
中間報告（180分）	
職場実習評価（報告会）（180分）	アセスメントやケア実践計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し職場及び自己の認知症ケアの今後の課題を明確にすることができる。